

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	発達心理学Ⅱ				授業形態	講義			
科目コード	750026	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	神垣 彬子							ICT活 用	○
授業概要	人間の発達に関わる代表的な理論を通して子どもの心身の発達の過程について理解し、それらの知識をもとに子どもの発達について理論的に考察しようとする姿勢やそのための方法を学ぶことを目的とする。 主に、感覚、運動、知性、社会性、感情に関する発達心理学の理論を実際の場面にあてはめながら理解し、教育者として必要な発達心理学の知識を学び、教育実践との関わりについて考える。 公立小・中学校でスクールカウンセラーの経験があり、また、保育、療育の現場での実務経験を有する教員が実際の事例検討等を交えた授業を行う。								
関連する科目	教育心理学、子どもの理解と援助、教育相談								
授業の進め方 と方法	講義は、パワーポイントで提示する資料や適宜講義内容に沿った視聴覚教材を用いて行う。 講義内容によっては、ディスカッションやロールプレイを用いて学びを深める場合がある。								
授業計画 【第1回】	発達心理学とは何か 発達や発達心理学とは何かについて学ぶ								
授業計画 【第2回】	発達に影響を与える要因 発達に影響を与える要因（遺伝と環境）について学ぶ								
授業計画 【第3回】	感覚と運動の発達 主に乳時期の感覚や運動の発達について学ぶ								
授業計画 【第4回】	愛着（アタッチメント）の発達 愛着の発達と、愛着形成のためのかわりについて学ぶ								
授業計画 【第5回】	知性の発達1：知性はいかにして身に付くか 知性の発達に関する理論を学ぶ								
授業計画 【第6回】	知性の発達2：知性の獲得を促す教育方法 知性の獲得を促す教育方法について学ぶ								
授業計画 【第7回】	社会性の発達1：他者認知と道徳性 子どもの他者認知や道徳性の発達について学ぶ								
授業計画 【第8回】	社会性の発達2：社会性を育む教育 子どもの社会性を育む教育やかかわりについて学ぶ								
授業計画 【第9回】	感情と自己の発達 子どもの感情や自己の発達について学ぶ								
授業計画 【第10回】	遊びの発達 子どもの遊びの発達や指導について学ぶ								

授業計画 【第11回】	個性の発達1：パーソナリティ パーソナリティの発達と、それに応じた教育実践について学ぶ
授業計画 【第12回】	個性の発達1：知能 知能の発達と、それに応じた教育実践について学ぶ
授業計画 【第13回】	青年期の発達：キャリア支援 青年期のキャリア意識の発達やキャリア支援について学ぶ
授業計画 【第14回】	発達につまずきを抱える子どもに対する理解と支援 発達障害を持つ子どもへのかかわりについて学ぶ
授業計画 【第15回】	振り返りとまとめ これまでの内容を振り返り、テーマごとに要約をまとめる
授業の到達目標	(1)発達とは何かや、発達を規定する要因について理解する。 (2)乳児期から児童期までの発達過程および各機能の発達について、系統的に理解する。 (3)乳児期から児童期までの発達課題および教育的なかわり方について、系統的に理解する。 (4)青年期の発達の特徴と発達課題について理解する。 (5)発達につまずきを抱える子どもについて理解し、対応を検討できる。 (6)自分と特にかかわりのある教育的な場面において、発達に応じた教育のあり方を考察できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業前に30分程度ノートの予習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。次回の講義の予習箇所については、講義終了前に毎回提示する。
授業時間外学習【復習】	授業後に30分程度ノートの復習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。当日の講義の復習箇所については、講義終了前に毎回提示する。
課題に対する フィードバック	最終試験の採点基準および回答のポイントについては、授業内容の振り返りとともに最終講義内で事前に解説する。
評価方法・基準	期末レポート（基礎用語の理解と指定評価方法テーマに対する論述問題）100点の結果で評価する。
テキスト	テキストなし。適宜資料を配布する。
参考書	適宜紹介する。
備考	